

アークのこと アークのスタッフのこと

アークのボランティアのこと

そしてオリバーさんのこと



一匹の犬の人生には、一つの家族のドラマがある

感動が胸をうつ！



オリバーさんと人生を分かち合った思い出の犬や猫たち。そして、今もともに暮らす犬や猫たち。「アーク」の箱船に乗った、たくさんの犬や猫たちのドラマは、オリバーさんのドラマであり、スタッフやボランティアみんなの感動的なドラマである。

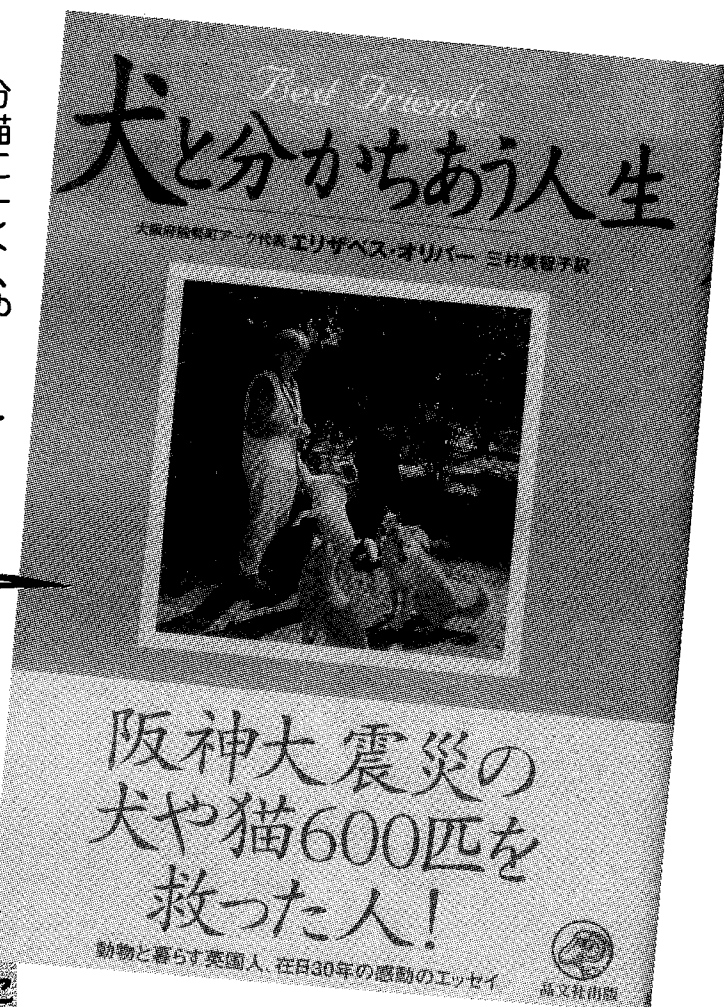
Elizabeth Oliver

アークでお申し込みの方には、
オリバーさんの直筆サイン付き！

誰よりも優しく“動物”を見つめ、
誰よりも厳しく“動物保護問題”を考える
一人の英国人女性が、動物を愛し、動物と暮らし、
動物と人間の間を問いながら、在日30年間の日々を送った。今、そのドラマが1冊の本となって語られる。

「犬を里親に出す時は、犬の側に立って里親さんの事前調査をさせていただきます」
このオリバーさんの一言が、本の出版を決めることになりました。人間の側に立って、ペットの側を見ている本はたくさんありますが、ペットの側に立って、ペットのことが書かれている本は、意外と少ないからです。頂いた原稿は、期待を遥かに超え、動物への愛情あふれる感動的なものでした。編集生活30年のうち、「あとがき」を読んで、涙ぐんでしまった本は初めてです。この涙ぐんだ時代に、外国人であるオリバーさんが、外国の地、日本でこんなに堂々とたくましく、そして優しい気持ちを持って生きておられることの驚きを、この本から感じとって頂きたいと思います。会員の皆様方が、「犬との暮らし」にさらなる自信を持っていただければ一冊になることを願っております。

編集/真野彰子



Many of the people who work at ARK or who support its work or who visit us, know very little about its modest beginnings; how it evolved from an individual rescuing stray animals into an organization that has members and supporters throughout Japan. ARK is closely linked to my own life and the experiences I have had over the years, working with many kinds of animals and special animals that have been my friends.

This book tells of these experiences including the traumas of the Great Hanshin Earthquake, the events that brought me to Japan, life in the wilds of Osaka and the evolution of ARK.

Although the book is written in Japanese, it has been translated from an original English text. This English text is available free with the book for those who request it.

All profits from book sales will go to support the work of ARK in its care of abandoned, unwanted and abused stray animals.

Elizabeth Oliver